

## 2019年東北6県の外国人宿泊者数が150万人泊を突破しました

2月28日に2019年の訪日外国人宿泊者数が観光庁から発表され、東北6県の外国人延べ宿泊者数は155.8万人泊となり、東北が一丸となって取り組んできた「外国人宿泊者数を2020年に150万人泊」とする目標を1年前倒しで達成いたしました。

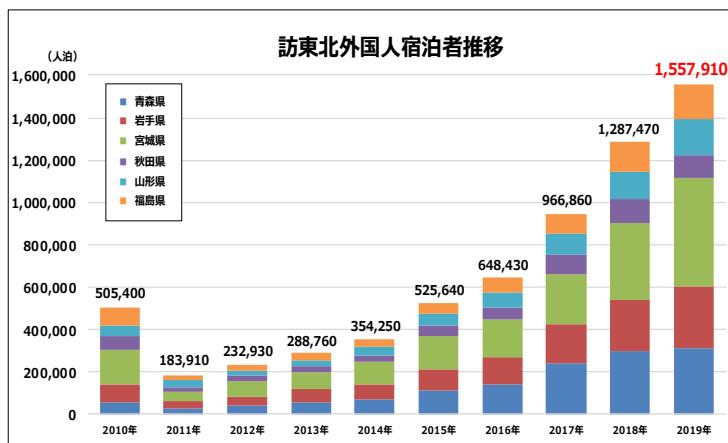
同日、東北運輸局において共同記者会見を行い、紺野専務理事推進本部長より東北のインバウンドの現状と取り組みについて説明いたしました。

東観推はこれまで「広域連携DMO」としてオール東北での観光推進体制の中心的役割を担い、日本政府観光局（JNTO）や行政機関、あるいは地域の観光関係者と連携しながら、官民一体となって取り組んでまいりました。2016年の台湾から始まった各県知事、仙台市長によるトップセールスでは定期航空便の増便や訪東北旅行者の増加につながっています。トップセールスはその後、中国（大連）、タイ（バンコク）等でも開催され、交流拡大の契機として着実に成果をあげています。

また2019年末には、欧米有力メディアが選ぶ2020年に訪れるべき世界の観光地として、「Lonely Planet」Best in Travel 2020、「National Geographic」Best Trips 2020に東北が選出されており、これまでのオール東北体制の取り組みの成果が海外からも高く評価されています。

今年は2020東京オリンピック・パラリンピック、2021年には東北6県DCと大きな観光イベントが開催されます。今後も、東北観光推進機構ではこれまでに積み上げた成果をより深化させ、誘客拡大の好機をしっかりと捕捉してまいります。

## 【訪東北外国人宿泊者数の推移】



## 【県別内訳】

県	万人泊
東北 6 県	155.8
青森県	31.6
岩手県	28.7
宮城県	51.2
秋田県	10.9
山形県	16.6
福島県	16.7



【東北運輸局との共同記者会見】

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」（調査対象施設：従業者数10人以上の施設）

台湾観光貢献賞を受賞しました  
(2020年2月7日)

東観推は、台湾観光促進に関する功績が認められ、「台湾観光貢献賞」を受賞しました。台湾観光貢献賞とは、台湾交通部観光局が台湾の観光振興に多大な貢献をした台湾内外の企業、団体、個人を対象に2007年から実施しているものです。

2月7日に、台湾・台北市の台北圓山大飯店で授賞式が行われ、紺野専務理事推進本部長が出席しました。式典では、台湾交通部林部長からトロフィーを授与されました。

授賞式には、蔡英文総統はじめ台湾交通部観光局周局長、台湾観光協会葉会長など、台湾の観光関係者が多く出席し、華々しいセレモニーとなりました。

東観推では、2016年の台湾へのトップセールスを契機とし、各種関係機関と連携し、東北6県台湾感謝祭（日本東北遊楽日）や商談会などオール東北での台湾との相互交流を継続して行っており、これらの一連の活動が今回の受賞につながったと考えております。

今後も官民一体となった台湾と東北の交流を促進してまいります。



【トロフィー受賞】



【日本側受賞者とともに】

## 「冬のコンテンツ視察ツアー」及び「冬の東北シンポジウム2020」第1回誘致部会を開催しました（2020年2月2日～6日）

スキーや樹氷をはじめとする冬の東北の魅力を発信することにより、東北の冬のブランド化の促進と、冬季の誘客拡大を図ることを目的として、スキー需要が高い豪州や、国を挙げてスキー人口の拡大に取り組んでいる中国を中心とした9つの国・地域から旅行会社12社を招請し、2月2日から6日にかけて東北6県の冬のコンテンツを視察するツアーを実施しました。

招請ツアーにおいては、東北各県を代表するスキー場において実際にスキービークを体験をしていただいたほか、それぞれの地域の特色ある温泉や、文化体験コンテンツ等を実際に体験していただき、東北の冬の魅力を実感していただきました。

招請参加者からは、「冬の東北はたくさんのスキー場があり、雪質も素晴らしい魅力的」や、「新幹線を使えば東京からのアクセスも想像よりはるかに便利」、さらには「雪景色だけでなく、日本の伝統文化も同時に楽しめるところが非常に素晴らしい」といった声が寄せられ、来冬の旅行商品造成に向けて大変前向きな反応があつたほか、今回視察しなかった秋の紅葉等の時期の商品造成も検討したいという意見もいただきました。

招請期間中の2月5日には、岩手県の鳴子温泉において「冬の東北観光シンポジウム2020」を開催しました。

2018年2月に「UNWTO（国連世界観光機関） 雪と文化の世界観光会議」が山形県で開催され、『雪と文化』が観光の目的となることが広く認識されることとなりました。また、『雪と文化』は、東北への旅行商品造成に結び付き、冬季の訪日外国人宿泊者数が年々増加する等、スノーツーリズムの機運が高まりつつあります。2019年2月の山形開催に続いて開催された本シンポジウムには、招請参加者に国内に拠点を持つ2社を加えた海外旅行会社14社に、東北の官民の観光関係者を合わせた約100名が参加しました。

シンポジウムにおいては、東北6県1市からそれぞれの冬の魅力を紹介するプレゼンテーションを実施しました。加えて、本年度東観推内に設置した「冬の東北」誘致部会の取り組み紹介として、同部会の尾関良夫部会長（株式会社岩手ホテルアンドリゾート）より、秋の紅葉に続く東北の次の柱として誘客及び観光消費拡大のポテンシャルが非常に大きいスキー、スノーアクティビティを軸にした「冬の東北」に注力するという部会設立の趣旨に関する説明を行いました。併せて、東北全体での一体的なプロモーション、県域を越えたスキーエリア間の連携、及びスキー場を起点とした周遊観光消費の拡大を目指すことに関する発表も行いました。さらに、東観推からは、スキー、スノーアクティビティ旅行の誘客促進及びプロモーション強化、認知・興味喚起から予約決裁までのアクションプラットフォームの構築・運営及びマーケティング、旅行会社・OTAとの連携による誘客推進を含む2020年度の事業概要について説明を行いました。

また、シンポジウムに先立ち、招請した海外旅行会社と東北側観光事業者23社による商談会も開催され、冬の東北を訪問する旅行商品の造成に向け、活発な商談が行われました。

今後も東北の冬のブランド化を推進し、冬季のさらなる誘客拡大に向けた取組を進めてまいります。

※OTA:「Online Travel Agent（オンライン・トラベル・エージェント）」の略で、その名の通り、オンライン上（インターネット上）のみで取引を行う旅行会社を指します。

## 「東京2020オリンピック・パラリンピック来訪者への東北誘客情報発信業務」に係るファムトリップ及び商談会を実施しました（2020年2月3日～6日）

2月3日から6日にかけて、台湾、香港、タイ、シンガポールの4カ国のOTAを招請し、北東北と南東北に分かれてファムトリップ及び商談会を実施し、東京オリパラ期間中の旅行商品の造成を図りました。

当初5カ国の方を招請する予定でしたが、新型コロナウィルスによる影響により、中国のOTAの2名がキャンセルとなり、上記の4カ国8名でのファムトリップ及び商談会の実施となりました。

北東北では十和田市現代美術館や秋田犬の里等、写真映えするスポットや癒し要素があるスポットが比較的高い評価を頂きました。また、南東北では山形の「サムライ体験」や、日本の古き良き時代を感じつつ、店主などとの触れ合いや美味しい料理とお酒を楽しめる仙台での「バーホッピング」が好評でした。

今回の招請事業を一過性のもので終わらせるのではなく、被招請者を継続してフォローアップする等、できる限りの方法を実践することで、オリンピック・パラリンピック時期における東北への誘客につなげてまいります。



【蔵王の樹氷見学】



【商談会の様子】



【シンポジウムの様子】



【十和田市現代美術館】



【林崎居合神社 サムライ体験】

## 米国・ロサンゼルスで開催された旅行博（Los Angeles Travel & Adventure Show）に出展しました（2020年2月15日～16日）

2月15日から16日にかけて、米国西海岸の一般消費者を主なターゲットに、東北の認知度向上と訪東北意欲の喚起を図るため、ロサンゼルスで開催された旅行博（Los Angeles Travel & Adventure Show）に出展しました。

ブースでは、来場者に東北のスケールの大きい歴史・自然・文化が伝わるように、山寺や青森ねぶた祭のパネルを展示しました。参加型アトラクションとして、仙台七夕まつりをモチーフとした七夕飾りを用意し、ブース来場者に自身の願い事を短冊に書いてもらうことで、東北をより身近に感じて頂けるような取り組みを行いました。

また、各県市や会員企業からご提供いただいたノベルティを活用し、東北の観光情報報を英語で発信しているFacebook及びInstagram「Tohoku Tourism」のフォロワー獲得を図ることで、継続的に東北の情報にアクセスいただけるような取り組みも実施しました。

今回の米国西海岸における旅行博の出展や、「Lonely Planet」「NATIONAL GEOGRAPHIC」が発表する「2020年に訪れるべき世界の旅行地」の東北選出を契機として、欧米市場における認知度向上・ブランド化への取組を進めてまいります。

- Facebook「Tohoku Tourism」（<https://www.facebook.com/TohokuTourism/>）
- Instagram「Tohoku Tourism」（<https://www.instagram.com/tohokutourism/>）



## ベトナムファムツアーチを実施しました (2020年2月13日～17日)

2月13日から17日にかけて、旅行会社招請事業の一環として日本航空株式会社ベトナム支店と連携し、ハノイ・ホーチミンから現地旅行会社やメディア（14社15名）を招き、東北地方の冬の魅力を体感・発信することを目的としたファムツアーチを東北6県で実施しました。

ファムツアーチ参加者は全員東北への訪問が初めてだったため、今回は冬の魅力を体験してもらうべく、東北各県の冬のコンテンツ（景色、祭りなど）を体験してもらう行程としました。

暖冬の影響により蔵王の樹氷が見られない等のアクシデントはあったものの、東北ならではの体験（地吹雪、かまくら、ねぶた）や郷土料理は好感触であり、特に日本酒の種類の豊富さが非常に好評でした。

今回ご参加いただいた旅行会社・メディアに対しては、2020年度訪日プロモーション事業を通して交流を継続し、次年度の旅行商品造成に向けたフォローアップを継続してまいります。



【地吹雪体験】



【銀山温泉】



【鶴ヶ城】

## 2019年度の口コミセミナーの総括について

東北観光復興交付金「口コミ投稿を活用した誘客促進事業」の一環で、東北6県及び仙台市で「口コミサイト活用セミナー」及び「口コミサイト活用サブセミナー」を開催しました。

「口コミサイト活用セミナー」は東北6県（主に県庁所在地）において、観光関係事業者を招いて実施したもので、「口コミサイト活用サブセミナー」は口コミ投稿の収集やトリップアドバイザーの活用に関心のある地域からの要望を受けて行ったものです。

両セミナーともに第1部ではトリップアドバイザーの概要や活用方法を紹介し、第2部では口コミを誘客の武器にするための上手な付き合い方や、地域のトリップアドバイザーの活用状況について説明しました。

「口コミサイト活用セミナー」は6回の開催で320名、「口コミサイト活用サブセミナー」は12回の開催で240名、計560名の観光関係事業者の皆様にご参加いただきました。

セミナーによってトリップアドバイザーの活用方法や口コミ投稿との付き合い方を知ることで、国内外の観光客の口コミ収集に向けた機運が醸成されています。

次年度以降もセミナーを継続し、より一層の東北地方の観光客誘致を図ります。



【秋保会場の様子】



【盛岡会場の様子】

## 「TOHOKUおもてなしフォーラム」を開催しました (2020年2月19日)

2020東京オリンピック・パラリンピックの開催を前に、東北を訪れる外国人旅行者に対し、「東北ならではのおもてなし」を行う気運を醸成することを目的として、2月19日に「TOHOKUおもてなしフォーラムin仙台」を開催しました。

フォーラムでは、東北の行政・民間の観光関係者に外国人旅行者が旅ナカで抱えている問題等への理解を深めていただくとともに、接遇の向上につなげていくため、「外国人観光客に日本流のおもてなしを」、「デジタルの活用」、そして「食のバリアフリー」というテーマで、3人の講師から講演をいただきました。また、フォーラムにおいては、東北域内や国内他地域における先進事例や、実際の外国人旅行客の対応に役立つ多言語指差しツール等をまとめた冊子「インバウンド対応ことはじめ」をご紹介しました。

当日は約130名が出席し、講演終了後多くの人が講師の方に質問する姿が見られるなど、熱心に聴講する姿が見られました。今後も東觀推では、「東北ならではのおもてなし」の機運醸成に向けた取組を進めてまいります。



○「インバウンド対応ことはじめ」の指差しツールは、  
東觀推HPからダウンロードいただけます！

東北觀光推進機構HP内「お知らせ」：

[https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0127/127\\_101\\_file.pdf](https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0127/127_101_file.pdf)

## 第2回フェニックス塾第一期生～三期生勉強会を開催しました (2020年2月19日)

2月19日に、第2回フェニックス塾第一期生～三期生合同勉強会を仙台市にて開催し、12名が参加しました。

第一部セミナーは、「TOHOKUおもてなしフォーラム」に参加し、講演を聴講しました。

続く第二部では、冒頭に東觀推の毛利事業企画部長により「2020以降の東北観光について」と題して講話を行いました。2020年のオリンピック・パラリンピックや2021年の東北DC等今後開催が予定されている各種イベントを契機として、東北観光のも盛り上げを促進するために、情報のデジタル化の重要性について説明しました。

また、第三部ワークショップでは、「地域全体での受け入れ体制を実現する方策」をテーマにディスカッションを行いました。



【ワークショップ】

## 訪日外国人旅行者の口コミを収集する取り組みにご協力をお願いします！

近年、個人旅行化や情報収集・予約購入のデジタル化が進み、旅行先の決定には口コミが大きな影響力を持っています。特に、口コミの蓄積数や内容を見て行き先を決めるという外国人旅行者が増加しています。

しかし、東北においてはトリップアドバイザーにおける外国語口コミ数が**日本全体の1%程度**と、圧倒的に少ない状況にあるため、地域が一体となって口コミを収集していく必要があります。

口コミ数を増やすには、口コミ投稿型サイトへの施設の基本情報の登録（「管理者（オーナー）登録」）や外国人旅行者の来訪時に口コミの投稿を呼びかけるなど、観光関係事業者の皆様のご協力が不可欠です。

より一層東北への集客を図るため、ご協力をお願いします

●トリップアドバイザーオーナー登録マニュアルを作成しました。これを見れば、オーナー登録の方法、困ったときどうすればいいか、どうやって口コミに返信すればよいかがわかります。ぜひご活用ください。

[https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81\\_101\\_file.pdf](https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0081/81_101_file.pdf)



## 東北觀光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください！

**多言語電話通訳サービス** 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇒英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【申込】お電話またはFAXでお問い合わせください。

申込書をお送りします。



「旅東北NEWS」VOL.018 2020年3月17日発行  
【発行】一般社団法人東北觀光推進機構  
仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階  
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293  
【Email】info-ttpp@tohokutourism.jp

「東北觀光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願ひします！